

フィリピンにおける消化器がん専門医の人材育成 3年計画の2年目

1. 消化器癌の早期診断システムの構築および、内視鏡や腹腔鏡手術で高度な技術を持つがん専門医の育成
2. 日本の消化器癌の早期診断率は世界的に見ても非常に高く、また、内視鏡および腹腔鏡手術専門医制度によってその技術も卓越している。本事業では、九州大学病院の専門スタッフがフィリピン大学を中心に、医療スタッフの相互派遣を実施し、現地での指導やハンズオンセミナーを通じて技術の普及と向上を図る。
3. 案件の成果、着地点

本案件により、本邦の内視鏡専門医および内視鏡技術認定医と同等の知識・技術を有する消化器がん専門医が育成される。また、遠隔指導ネットワークを構築することで、マニラのみならず地方都市においても、自国内で次世代の若手医師を継続的に育成可能な環境が形成される。さらに、胃癌・大腸癌・膵癌の診療ガイドライン作成が開始され、本邦の内視鏡機器および腹腔鏡手術機器の有用性を普及させ、フィリピン国内における市場シェアの拡大を図る。

